

一言メモ

茂木町観光協会・茂木町ホームページ等より引用

未成線の旅へようこそ

今は幻となった長倉線の鉄道跡地を自然と歴史に触れる散策道として整備しました。アーチ橋や築堤など貴重な鉄道遺構の魅力をお楽しみください。

⑩ 茂木駅
茂木駅は、大正9年12月15日に開業しました。建設当初から主要駅のひとつで、本館は瓦葺きで内外共に淡緑色のペンキ塗り、事務室等も最新式の構造法をもって造られました。

茂木駅は、ツアー開催時のみ許可を得て通行できます。通常は**立ち入り禁止**です。ツアー開催日は、茂木町観光協会までお問合せください。
TEL 0285-63-5644 <https://motegi-k.com/>

⑭ 大塚山トンネル
長倉線の最大の難工事であった唯一のトンネルが残っています。延長は180mあり、列車が一度も走っていないため、トンネル内部は、煤で汚れることもなく、コンクリート打設当時の姿のまま現存しています。

⑯ 下野中川停車場跡
写真は、請負業者だった小林組の安全週間で、建設に携わった関係者を見ることが出来る貴重な一枚です。(昭和14年7月頃)

大塚山トンネルは、ツアー開催時のみ許可を得て通行できます。通常は**立ち入り禁止**です。ツアー開催日は、茂木町観光協会までお問合せください。
TEL 0285-63-5644 <https://motegi-k.com/>

国鉄 長倉線の建設

真岡線茂木延長が実現した翌年、大正10年9月、真岡線の茂木と常磐線の大甕(日立市)を鉄道で接続しようとする「甕茂鉄道建設運動」が起こりました。大正11年4月鉄道敷設法の中に阿野沢(現城里町桂地区)より分岐して茂木に至る鉄道が予定線としてあげられていましたが、山岳が連なり工事が困難などの理由で、茂木～中川村～長倉村を経て、東野(現常陸大宮市)に接続するよう路線の変更を訴え、昭和3年長倉線の建設が決定されました。しかし、昭和不況による財政難のため着工は延期されてしまいます。そして、昭和12年3月、茂木～長倉間12.2kmのうち、茂木側6.2kmの工事がようやく着手されました。戦争で放棄されましたが、80余年を経ても色褪せない多くの遺構が当時のまま現存しています。



城山公園
彼岸花群生地



道の駅 もてぎ

城山公園には、1600年頃までおよそ400年間、茂木氏の居城がおかれていました。現在は公園として整備されており、土塁や空堀、堀切などの遺構をみることができるほか、四季折々の花々を楽しむことができます。

(参考) SL運行日 毎週土・日・祭日
道の駅もてぎ通過時刻
12:00頃(12:02 茂木駅着)
14:30頃(14:28 茂木駅発)